

# 檜枝岐歌舞伎公演

## 町民が集い、交流



### 檜枝岐歌舞伎プロフィール

檜枝岐歌舞伎は、江戸の時代より親から子、子から孫へと伝承されて連綿と続き、春と秋の祭りに奉納歌舞伎として檜枝岐の村人を楽しませてきました。現在残っている資料の中に270年前に購入された浄瑠璃本が残っていることから、270年以上の歴史を持っていると言われてい

ます。また檜枝岐歌舞伎は平成11年3月31日に福島県の重要無形民俗文化財に指定されております。

1) 玉藻前旭の袂 道春館の段の様子

公演の初めには、「ドキュメンタリー映画の「やるべえや」の上映があり、檜枝岐歌舞伎の伝統を守るための取り組みや檜枝岐の文化について理解を深めました。

その後、舞台清めのための寿式三番叟の上演があり、公演の最後は、平安時代末期の物語玉藻前旭の袂 道春館の段という演目を座員のみなさんが迫真の演技で締めくくりました。

会場を訪れた来場者からは、拍手が湧き起こっていました。

公演に先立ち、檜枝岐村の星光祥村長は、「浜通り地方を支援したいという村民の強い思いがありました。」と公演が開催することとなった経緯を説明しました。

当日は、平日ではありましたが、浜通り地方でめったに観ることのできない歌舞伎を一目観ようと約350人の方の来場がありました。

公演に先立ち、檜枝岐村の星光祥村長は、「浜通り地方を支援したいという村民の強い思いがありました。」と公演が開催することとなった経緯を説明しました。

### 被災地支援歌舞伎公演

檜枝岐村の檜枝岐歌舞伎を伝承する千葉之家花駒座は、東日本大震災および原発事故の復興支援として、11月15日（金）に広野町中央体育館で公演会を開催しました。この公演は、座員のみなさんの熱い想いと檜枝岐村と福島民報社の協力により実現しました。

### 2) 寿式三番叟

能の「翁」に由来するもので、神聖な儀典曲としての扱いを受けるものとされる。檜枝岐村では、歌舞伎上演の際に必ず演じており、その日の舞台清めと公演の無事を祈るために舞うこととなっている。



### 3) 玉藻前旭の袂 道春館の段

桂姫に横恋慕する獅子王が使者・金藤治を立て、妻になるか首をよこすかと無理難題を持ちかける。捨て子だった桂姫の親が実は、金藤治だったという親子の悲しいストーリーになっている。



### 4) 千葉之家花駒座 星長一座長

公演にあたって、星長一座長は、「快く会場を提供してくれた広野町に感謝しています。この公演が、今もなお避難されている方々にとって広野町に足を運びきっかけになればうれしいです」と話してくれました。



### 5) 檜枝岐村

福島県の西南端に位置し、東西24km南北34.5kmにおよび、東は旧館岩村に、南東は帝釈山、黒岩山等の山岳を挟んで群馬県片品村に、西は只見川を県境として新潟県魚沼市(旧湯之谷村)に、北は只見町および旧伊南村に接しています。

